

**「京銀輝く未来応援ファンド」を活用し事業承継課題を解決！
～PEファンドとの共同出資スキームを組成～**

京都銀行（頭取 土井 伸宏）では、取引先企業（関西圏の卸売業者、売上高20億円超。以下、対象会社）に対して、京都銀行グループと独立系プライベート・エクイティ・ファンド（以下、当該PEファンド）による共同出資を行い、対象会社の事業承継課題を解決しました。

本件スキームは、法人コンサルティングの専門組織である法人総合コンサルティング室によるものです。

記

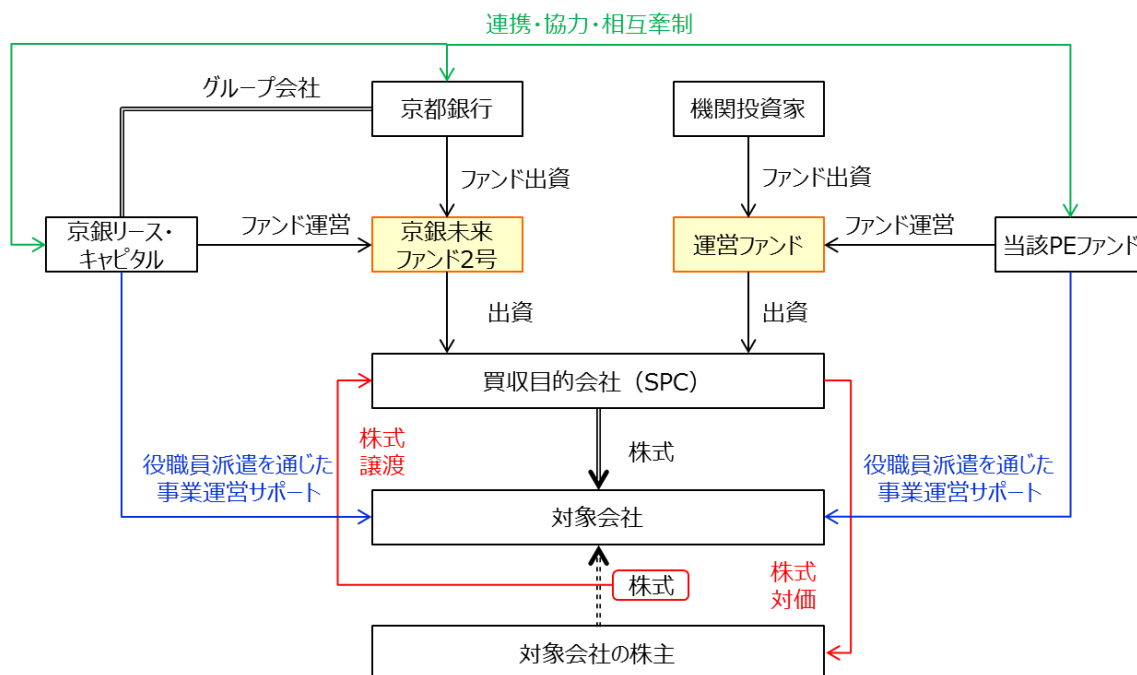
1. 本件概要

京都銀行がグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役 奥野 浩）と2019年2月に設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（以下、京銀未来ファンド2号）」と、外部提携先の当該PEファンドによる運営ファンドが、買収目的会社（以下、SPC）に対して共同出資を行い、SPCが対象会社の全株式を取得しました。

対象会社には今後、外部からの社長の招聘や、京銀リース・キャピタルおよび当該PEファンドからの役職員の派遣を通じて事業運営のサポートを行い、対象会社の従業員と一丸となって企業価値向上に努めてまいります。

なお、本件は「京銀未来ファンド2号」における第12号投資案件となり、当ファンドで初めての事業承継課題への取組みとなります。

スキーム図



2. 本件経緯

対象会社の社長は後継者に関する課題を抱える中、事業の承継について、従業員と取引先が安心感を得られるものであること、自社の新たな成長機会となることを前提に、M&A を検討してきました。

そこで、法人総合コンサルティング室は、京都銀行グループも対象会社の経営に関与することで社長の意向に沿えるものと考え、本件における最良のスキームとして、事業会社への承継ではなく、京都銀行グループが持つ信用力とネットワークおよび、当該 PE ファンドが持つ事業運営に関するノウハウや経営サポートという双方の強みを活用できる共同出資のスキームを組成しました。

3. 京都銀行の取組

当行では、取引先の事業拡大および事業承継に際して、M&A 支援を積極的に行っています。近年では、多様化する取引先の課題に、一部事業の切り離しやファンドの活用のほか、海外企業の M&A 等、様々な解決策でもってお応えしております。

<ご参考>

京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP) : 京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP) : 株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円 (2020年1月に10億円から増額)
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年 (ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上